

報道関係各位

岩手県立大学

## いわての情報教育の活性化にむけて ～「岩手県情報教育担当教員研究会」開催のお知らせ～

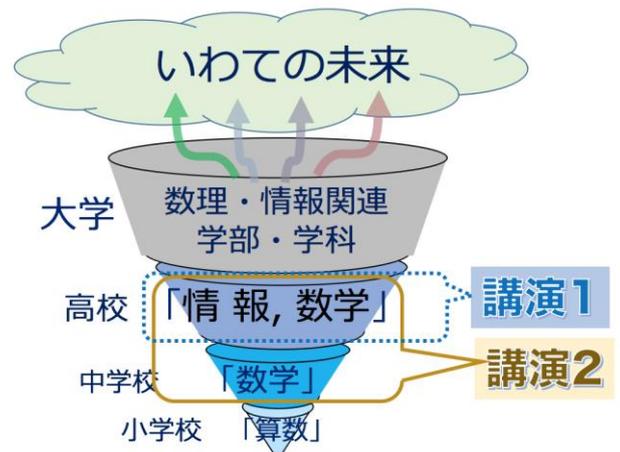
本研究会は、県内の情報教育の高度化・活性化を目指して、県教育委員会をはじめ、県総合教育センター、県内高校の皆様にご協力いただきながら、県内高校で教科『情報』を担当されている教員の交流の場とすべく、平成28年度より、ソフトウェア情報学部主催で開催しています。

この間、平成29年3月に小学校と中学校の学習指導要領が、平成30年3月には高校の学習指導要領がそれぞれ改訂され、小中高を通じて統計教育や情報活用能力（プログラミング教育含む）の充実が図ることとされています。

「教育の情報化の動向—新学習指導要領下のプログラミング教育—」（文科省資料）より

	平成30(2018)	平成31(2019)	平成32(2020)	平成33(2021)	平成34(2022)
小学校	移行措置 教科書検定		教科書採択	32年度～ 全面実施	
	移行措置 教科書検定		教科書採択	33年度～ 全面実施	
中学校	移行措置 教科書検定		教科書採択	33年度～ 全面実施	
	移行措置 教科書検定		教科書採択	33年度～ 全面実施	
高等学校	周知・徹底		移行措置 教科書検定	教科書採択	34年度～ 学年進行で実施
	周知・徹底		移行措置 教科書検定	教科書採択	34年度～ 学年進行で実施

令和元年度から小学校ではプログラミング教育が必修化され、令和2年度からは中学「技術・家庭科」でプログラミングの単元が拡充されます。さらに、令和3年度からは、高校「情報Ⅰ」が必修科目となり、情報の科学的理解やプログラミングを文系・理系を問わず全国の生徒が学ぶこととなります。同時に、中学と高校の数学科では統計教育のための単元が拡充されます。また、岩手県では、「いわて県民計画」の中で、第4次産業革命技術を活用しながら新たな社会を創造し、岩手県の未来をけん引する人材の育成を目指すプロジェクトをスタートしています。



そこで、今回の研究会では、高校の情報科に関する話題に加えて、高校と中学の数学科にも焦点をあて、講演1では「情報科と数学科の連携」、講演2では「ICT活用型数学授業」をテーマとすることといたしました。そのため、今回の研究会は、県内高校のみならず、県内中学校にも案内を差し上げております。

今回の研究会を通じて、岩手県内での情報教育の活性化がはかられ、数理科学やコンピュータ科学に関心・興味をもつ児童生徒が増え、大学等へ進学して数理・情報分野を専門的に学び、いわての未来の創り手となることを期待しておりますので、当日の取材について、よろしくご依頼申し上げます。

## 令和元年度岩手県情報教育担当教員研究会 講演詳細

- 1 主催 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部
- 2 後援 岩手県教育委員会
- 3 日時 令和元年 12月6日(金) 14時から16時30分まで(13時30分より受付)
- 4 会場 岩手県立大学滝沢キャンパス ソフトウェア情報学部 A棟 204 講義室(岩手県滝沢市菓子 152-52)  
※会場には駐車場がございますので、お車でお越しいただけます

### 講演 1 (14:10～15:10) : 「新学習指導要領における教科『情報』と情報科と数学科の連携」(仮)

鹿野 利春 様

(国立教育政策研究所 教育課程調査官、文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課 情報教育振興室 教科調査官)

新学習指導要領は昨年3月に公示され、今年5月には教員研修用教材も公開されました。新学習指導要領における教科「情報」は、現行の「社会と情報」「情報の科学」から「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」となり、「情報Ⅰ」が必履修となりますが、Ⅰ・Ⅱの両科目ともプログラミングや情報科学などの内容が盛り込まれ、より一層高度な内容となったことが大きな特徴です。また、統計教育に関しては数学科と情報科が協力して充実させることが期待されているなど、教科「情報」に関する状況は大きな変化が見込まれています。

このような背景から、新学習指導要領における教科「情報」の策定に関わられた文部科学省 生涯教育政策局 情報教育課情報教育振興室 教科調査官 鹿野様をお招きし、新学習指導要領における教科「情報」と、情報科と数学科の連携についてご講演をいただきます。

### 講演 2 (15:20～16:20) : 「Scratch を用いた ICT 活用型数学授業の実践例について」(仮)

上出 吉則 様

(大阪教育大学 教育学部 教員養成課程 数学教育講座 特任教授)

上出研究室では、算数や数学の授業に ICT を活用する研究をおこなっています。具体的には、Scratch という言語で作成された創作プログラミング教材を授業で活用して学力向上につながる研究です。創作プログラミング教材には、アニメーション、ストーリー、アツと驚く仕掛けなどがあります。授業には、驚きがあり、発見があり、感動があり、笑いの起こる展開になります。楽しいだけでなく、算数や数学をより深く理解できる授業が展開されます。しかし、肝心の創作プログラミング教材の完成には数カ月を必要とします。苦勞して創作したプログラミング教材が授業で活躍する姿を見ると感動で目頭が熱くなります。本日はその教材の一部を紹介します。

以上

(問い合わせ先)

担当 岩手県立大学ソフトウェア情報学部  
児玉 英一郎

メール kodama@iwate-pu.ac.jp

TEL 019-694-2628

FAX 019-694-2501